

| 基盤B (一般) | チェック項目 |
|-------------|--|
| 全体 | 全体的に |
| 全体 | 様式の改変はないか(枠の拡張・ページ増減) |
| 全体 | 誤字・脱字はないか |
| 全体 | 句読点・カッコ・スペース・通し番号の過不足、飛びはないか |
| 全体 | カラーの図表等は白黒でも判別可能か(カラー使用制限はないが、審査員には白黒で送付) |
| 全体 | 書体(明朝、ゴシックなど)の選択と、太字・下線など装飾は自由だが、不自然さはないか |
| 表紙 | 表紙 |
| 表紙 | 部局は正しいか(医員・病院組織所属者は「大学病院」、その他は「医学部」) |
| 表紙 | 職名は正しいか(職員録参照)※講師(学内)→助教 |
| 表紙 | 研究経費総計の90%超が特定の費目に偏っていないか(物品費除く) |
| 表紙 | (偏っている場合は、『研究経費とその必要性』ページに理由を書いているか) |
| 表紙裏 | 研究組織 |
| 表紙裏 | 役割分担に「研究代表者」「研究分担者」など、役割でなく種別のみを書いていないか |
| 表紙裏 | (例えば「研究全体の遂行」だけでもいいので、実際に「何を」するか記入する) |
| 表紙裏 | エフォートが、実状に即した数値か(重要度でなく、応募課題に割く業務時間の比率として) |
| 1~4 | 1 研究目的、研究方法など |
| 1~4 | 文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考) |
| 1~4 | (概要)(本文)の文字が消えていないか |
| 1~4 | (概要)が10行程度になっているか |
| 1~4 | (概要)に設問(1)(2)(3)を網羅して回答してあるか(目安分量=5:3:2) |
| 1~4 | (本文)に設問(1)(2)(3)を網羅して回答してあるか(目安分量=2:1:3) |
| 1~4 | 設問にない審査項目【波及効果】の記載もあるか(より広い学術・技術・社会への貢献) |
| 1~4 | ※留意事項(斜体)が消してあるか |
| 5 | 2 本研究の着想に至った経緯など |
| 5 | 文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考) |
| 5 | 設問(1)(2)を網羅して回答してあるか |
| 5 | (2)…他者による関連研究の状況と、今回申請する研究課題の位置づけ |
| 6~7 | 3 応募者の研究遂行能力及び研究環境 |
| 6~7 | 文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考)(業績リストは以下でも可) |
| 6~7 | 設問(1)(2)を網羅して回答してあるか |
| 6~7 | (1)…業績リストなど(業績リストの応募者名は下線などで目立たせるとよい) |
| 6~7 | (2)…必要な施設・設備・資料等、研究環境は整っているか |
| 6~7 | (論文)論文名、著書名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年(西暦)等を記載してあるか |
| 8 | 4 人権の保護及び法令等の遵守への対応 |
| 8 | 文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考) |
| 8 | 対象となる措置を網羅してあるか(倫理・動物・組換えなど) |
| 8 | 他のページに書いてある場合は、このページへ移動&空いた欄を充実させる |
| 8 | 該当しない場合、その旨を書いているか |
| 9 | 5 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項 |
| 9 | 該当しない場合「空欄」にしてあるか(研究期間欄は「平成 年度～令和2年度」でよい) |
| 9 | 該当する場合、各項目は10行程度で記載されているか |
| 10~11 | 研究経費とその必要性 |
| 10~11 | 研究経費総計の90%超が特定の費目に偏っている場合、理由を書いているか |
| 10~11 | 「その他」費として大きな割合を占めるものがある場合、理由を書いているか |
| 10~11 | 各物品・料金の必要性が説明されているか |
| 10~11 | ※採択時は一律3割減で交付される→それでも購入可能な金額に設定してあるか |
| 10~11 | ※設備・消耗品: 用途もできる限り記入 |
| 10~11 | ※旅費: 行先・日数の予定もあれば記入 |
| 12 | 研究費の応募・受入等の状況 |
| 12 | 記載漏れはないか(次年度以降も続く場合、『期間全体の額』は見込で可) |